

第6回（仮称）はりま新宮小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（西栗栖小学校）
議事録

日時 令和7年7月17日（木）
午後7時から
場所 西栗栖コミュニティセンター

1 開 会

2 報 告

第7回開校準備委員会の協議内容について
事務局から説明

＜質疑応答＞

（委員）現在の新宮中学校の校歌を小学生が歌うことは少し難しいのではないかな。

（事務局）曲調としては難しくないという意見や、歌詞が難しいという意見がある。

（委員）播磨高原の小学校の校歌は難しい。

（委員）小中一貫校として使用する校歌が1つになると、その校歌を小学生も中学生も歌うことになる。

（事務局）そうである。

（委員）5つの校歌が1つになるので、5つの校歌の特徴を1つにまとめるように委託してもよいのではないかな。

（事務局）現時点では、新宮町民の方から様々なフレーズを募集して、校歌を作成していくことが1つの案かと考えている。先ほど頂いた意見も参考にさせていただく。

（委員）各小学校の校歌を見ていると、それぞれにしかない山の名前などが出てくる。自分たちの住んでいる近くの名前が校歌に入っていると親しみが生まれる。

（委員）新宮中学校の校歌を中学1年生で覚えることが難しかった印象があるが、新宮地域の特徴が集まった校歌になっているかと思う。

（委員）小中一貫校で1つ、小学校で1つ、中学校で1つ、全部で3つの校歌を作ることは考えられないのか。

（事務局）子どもたちが校歌を3つ覚えることになる。

（委員）現在の新宮中学校の校歌は、新宮地域の方々も歌えるため、小中一貫校全体の校歌として残して、子どもたちだけで歌う校歌は開校に合わせてもう1つ作る案も考えられる。卒業までの途中で新しい校歌を覚えることになる子どももいるので、なるべく子どもたちが覚えやすく、親しみのある校歌が良いと思う。

(委員) 小中一貫校になって小中の交流が生まれるということであれば、1つ新しい校歌を作って小学1年生から中学生までが同じ校歌を歌ってもよいのではないかな。一方で、中学校の校歌への親しみが強いのであれば中学校の校歌として残して、小学校の校歌を新しく作ることも良いかと思う。小中一貫校の良さが同じ体育館で一緒に校歌を歌う場面があるなどであれば1つの校歌を一緒に歌えばよいのではないかな。

(委員) 小学校と中学校で一緒に行事をすることはあるのか。

(事務局) 現在の想定としては、行事は小学校と中学校で別にすることを考えているが、他の小中一貫校の様子を見てみると、年数が経つにつれて一緒に行事をすることが増えてきている。そういったことも踏まえて、最近建てられた小中一貫校では校歌が1つになっているのではないかと考えている。

(委員) コロナ時には校歌を歌うことを控えていたと思うが、現在は歌わせているのか。

(事務局) 現在は、元の状態に戻りつつある。新宮中学校も歌っていた。

3 議 事

開校準備委員会小学校区部会における前年度からの継続協議事項について

事務局から説明

<質疑応答>

【(仮称) はりま新宮小中一貫校における通学手段】

(事務局) 鍛冶屋の乗降場所を変更することについてご異議ないか。

(委員) それで良い。

(事務局) 西栗栖校区の中学生の通学手段についてこれまで協議してきたが、開校時点は、小学生はスクールバス、中学生は姫新線という方針にご異議ないか。

(委員) スクールバスは基本的に小学生のために運行するので、仮に中学生がスクールバスを利用しようと思っても中学生の時間には合わせられないので、これまでどおりの通学手段になったという認識でよいかな。

(事務局) そうである。

(委員) 佐用町では小学生も中学生もスクールバスを利用しているが、それぞれで運行状況が違っている。部活動があるので中学生が小学生と時間も違うし、どちらも利用しようとする小学生と中学生を分けてスクールバスを運行する必要がある。それができないのであれば現状のとおりで仕方がないを考える。ただ、部活動が終わって西栗栖駅まで帰ってきても暗い道を帰ることになる。新宮中学校の方針は携帯電話を学校に持ってくることは認めないとのことであるが、保護者としては子ど

もの下校状況を知る方法が欲しい。小中一貫校になった時にはそのあたりを柔軟に考えていただきたい。

(事務局) 今後、小中一貫校の学校の決まりを決めていくことになるので、先ほどの意見を踏まえながら考えていきたい。

(委員) スクールバスに乗れる席があるのであれば、朝だけでも中学生も乗せてほしいという意見がある。

(事務局) 西栗栖で運行すると進入道路の関係もありバスのサイズが限られてくる。そのため、開校時点では登校時には補助席を使った状況でもほぼ満席になり、中学生が乗れるほどの席はない。

【小学校に設置の記念碑等の取扱い】

(部会長) 地域交流室に設置するもの全てを今日決めるのか。

(事務局) 今日は決め方だけ決めていただきたい。

(委員) 全ての学校で持ち寄る内容がある程度決めておく方がよいのではないかな。

(委員) 校旗、校章、校歌は統一すればよいと思う。それ以外の持ち寄りたいものは、おそらくそれぞれの学校で違ってくる。

(事務局) 統一するところは統一して、各校区での特徴も出していきたい。他の校区では校舎の写真などを残したいという意見が出ている。

(委員) 今の校舎とその前の校舎が良いと思う。地域住民みんなに見てもらうことを想定しているのか、これから入学する子どもたちに見てもらうことを想定しているのか。卒業生の記念品であれば、旧の学校に置いておく方が良いと思う。そうする方が卒業生にとって良いと考える。

(委員) 地域交流室があっても地域住民が行くことは現実的にはあまりないと思う。行事の際に立ち寄るといっても全住民が集まる行事はないのではないかな。そう考えると子どもや保護者を対象にすることになるのではないかな。

(委員) 地域交流室に持っていないものは現在の校舎に残しておくのか。

(事務局) そうである。

(委員) 学校の跡地利用次第だと思う。佐用町の学校も、旧校舎を別用途で使っている学校もあれば空いたままの学校もある。違う用途で使用されだすと自由に入ることができなくなる。

(委員) そこは今後の課題である。持っていくものを決めて、残すものは今の校舎に残しておいて、跡地利用の話が進みだしたらその時点で残しているものを考えていけばいい。

(委員) 展示物を入れ替えていくことは可能なのかな。

(事務局) 可能である。地域交流室は、子どもたちが地域学習をする際に利用してい

くことを想定しているので、そういった時には展示物を見ながら勉強をすることも
あると考えている。

(委員) 小中一貫校で大事な点が、歴史と文化を残していくことだと考えるので、そ
の1つがこの地域交流室だと思う。展示するものとしては、各学校の歴史を感じら
れるものを選定してはどうか。

(事務局) 校歌は統一して校内に残すことを計画しているが、西栗栖の場合、古い校
歌も体育館に残っている。それは統一的に残すものにはならないため、例えば古い
校歌を小さく印刷したものを展示していくようなことが考えられるのではないか。

(委員) 昔の校舎の写真や運動会の様子の写真があるので、そういったものを別に画
像に収めて展示してもよいのではないか。

(委員) 統一的なもの以外について、各自が考えて、次回に持ち寄っていただきたい。

4 その他

5 閉 会